

2019年度 専攻外古楽の履修希望申請について ※副科実技ではありません。

古楽研究室 geidaikogaku@gmail.com、050-5525-2343

履修希望申請方法
<p>< STEP1. > 各注意事項等をよく読んで上で、履修希望受付期間内に「2019年度専攻外古楽履修希望申請フォーム」より申し込んでください。 ○受付期間：2018年11月5日（月）16:00～11月15日（木）16:00 ○申請フォーム掲載場所：藝大HP> 学生生活> お知らせ> 音楽学部・研究科> 2019年度 副科実技・専攻外古楽・和楽器実技・邦楽科尺八専攻 副主専攻流派 履修希望申請フォーム ※履修希望受付期間後の追加受付は一切出来ません。</p> <p>< STEP2. > 履修が認められた科目は、来年度（2019年度）4月の履修登録期間にCampus Planで忘れずに登録してください。 「2019年度専攻外古楽履修希望申請フォーム」で申請をただけでは履修登録は完了しません。 CampusPlanでの履修登録が出来ていなかった場合、単位は付与されません。</p>

全体注意事項				
<p>○専攻外古楽は他に専攻を持ちながらも、深く古楽を学びたい学生を対象としている。履修希望申請フォームの志望動機の欄に、将来自分の専門と古楽をどのように関わらせたいと思っているかを記入してもらい、それを参考にしながら志望動機、他の副科実技との併修の有無、学年等も勘案し、受入可能な人数内で履修者を決定する。楽器によっては、履修対象者の制限やオーディション等を行うものもあるので注意すること。 ○原則として大学院生対象とする。学部生の履修には制限があるので、下記の注意事項をよく読んで申請すること。 ○履修を取りやめる場合、必ず古楽研究室まで文書で連絡すること。連絡がなかった者については、翌年度以降の履修を認めない。</p>				
<table border="1"> <tr> <td>大学院生へ</td> <td>「専攻外古楽」の履修を希望するものは、下記の開設予定科目から1つ選択し「2019年度専攻外古楽履修希望申請フォーム」へ入力すること。また履修受け入れ可能な人数に限りがあるため、履修できるのは大学院在籍期間中のいずれか1年間のみとする。また2つ以上の開設科目の履修は年度が変わっても認められないので注意すること。</td> </tr> <tr> <td>学部生へ</td> <td>副科古楽の当該楽器の「中級」に続けて「専攻外古楽」の履修を希望する者に限り、履修希望申請をすることができる（履修できるのは1年間まで、1つの開設科目のみ）。そうでない者は、まず副科初級から履修すること。 なお、「バロック声楽」は副科を開設していないため、学部生が副科履修なしに「専攻外古楽」の履修希望申請をすることができる。</td> </tr> </table>	大学院生へ	「専攻外古楽」の履修を希望するものは、下記の開設予定科目から1つ選択し「2019年度専攻外古楽履修希望申請フォーム」へ入力すること。また履修受け入れ可能な人数に限りがあるため、履修できるのは大学院在籍期間中のいずれか1年間のみとする。また2つ以上の開設科目の履修は年度が変わっても認められないので注意すること。	学部生へ	副科古楽の当該楽器の「中級」に続けて「専攻外古楽」の履修を希望する者に限り、履修希望申請をすることができる（履修できるのは1年間まで、1つの開設科目のみ）。そうでない者は、まず副科初級から履修すること。 なお、「バロック声楽」は副科を開設していないため、学部生が副科履修なしに「専攻外古楽」の履修希望申請をすることができる。
大学院生へ	「専攻外古楽」の履修を希望するものは、下記の開設予定科目から1つ選択し「2019年度専攻外古楽履修希望申請フォーム」へ入力すること。また履修受け入れ可能な人数に限りがあるため、履修できるのは大学院在籍期間中のいずれか1年間のみとする。また2つ以上の開設科目の履修は年度が変わっても認められないので注意すること。			
学部生へ	副科古楽の当該楽器の「中級」に続けて「専攻外古楽」の履修を希望する者に限り、履修希望申請をすることができる（履修できるのは1年間まで、1つの開設科目のみ）。そうでない者は、まず副科初級から履修すること。 なお、「バロック声楽」は副科を開設していないため、学部生が副科履修なしに「専攻外古楽」の履修希望申請をすることができる。			

2019年度開設予定科目	楽器別注意事項
バロック声楽	声楽科および古楽科の学生を優先とする。
チェンバロ	オーディションと面接によって受講者を決定する。 ■日時：2019年2月5日(火)午後、副科古楽の試験終了後 ■課題曲：J.S.バッハ：『インヴェンションとシンフォニア』または『平均律クラヴィーア（第1巻、第2巻）』から任意の1曲（『平均律』はプレリュードとフーガを合わせて1曲とする） ○事前練習についての詳細は、古楽研究室に問い合わせること。 ○現在チェンバロ中級を履修している者は、受験不要である。
フォルテピアノ	オーディションと面接によって受講者を決定する。 ■日時：2019年2月5日(火)午後、副科古楽の試験終了後 ■課題曲：J.ハイドンの以下の3曲のソナタより任意のソナタの第1楽章を選び、フォルテピアノで演奏する。 クラヴィーアソナタHob. X VI:40 G-dur, クラヴィーアソナタHob. X VI:41 B-dur, クラヴィーアソナタHob. X VI:42 D-dur ○事前練習についての詳細は、古楽研究室に問い合わせること。
バロックヴァイオリン	ヴァイオリン、ヴィオラ専攻生（またはそれに匹敵する学習経験を持つもの）を対象とする。オーディションによって受講生を決定する。 ■日時：2019年1月30日(水) 午後早め、副科古楽の試験終了後 ■課題曲：J.S.バッハの無伴奏作品から一つの楽章を演奏する。 ○楽器・弓・ピッチはモダン、バロックどちらを使用しても構わない。 ○現在副科バロックヴァイオリン中級を履修している者は、受験不要である。
バロックチェロ	チェロ専攻生を対象とする。 木曜の2限、4限、5限にレッスンに来れる者に限る。
ヴィオラ・ダ・ガンバ	
フラウト・トラヴェルソ	フルート専攻とリコーダー専攻の学生を優先とする。 それ以外の専攻生については、オーディションによって受講生を決定する（フルート、リコーダー専攻の学生は受験不要）。 ■日時：2019年1月29日（火）午前、副科古楽試験終了後 ■課題曲：横笛（モダン・フルート、フラウト・トラヴェルソ、邦楽の笛）で5分程度の自由曲を演奏する。 ○現在副科フラウト・トラヴェルソ中級を履修している者は、受験不要である。
バロックオーボエ	オーボエ経験者に限る。 ※履修者は、ローレー社のイングリッシュホルンのチューブ（金メッキ）2本を用意して初回のレッスンに臨むこと。